

### 【趣 旨】

- 公営企業の経営環境については、人口減少に伴う料金収入の減や、施設等の老朽化による更新需要の増大など、今後、厳しい状況が待ち構えている。また、繰出金等を負担している一般会計についても、今後、社会保障関係経費等の増大が見込まれ、厳しい財政状況にある。
- 一方、一部の地方公共団体では、民営化やコンセッションの導入など、民間経営主体の活用による、より効率的な経営手法の導入が模索されている。また、上下水道事業では、広域連携や事業の最適化に向けた検討も進められている。
- このような情勢を踏まえれば、地方公営企業について、廃止・民営化・広域化・民間活用といった抜本的な改革の検討を行うことは急務となっており、本研究会を開催し、公営企業の各分野について、抜本的な改革の検討を推進する上での考え方や、対象、課題、方策等について整理を行うものである。

### 【主な検討項目】

- 抜本的な改革の考え方・対象・課題の整理  
→ 公営企業の各分野について、事業特性や経営環境等を踏まえつつ、抜本的な改革の検討を推進する上での考え方や対象、課題、方策等を整理。
- 抜本的な改革の検討に資する指標の検討  
→ 多大な財政的リスクが生じている事業や、収益性やコストについて課題を抱える事業について、将来世代への重い負担をもたらさないよう、収益性、持続可能性・財政的リスク等の観点から指標を設定し、抜本的な改革の検討を促す。
- 改革の成果の検証方法の検討

## 研究会における検討の進め方

第1回	5月27日	抜本的な改革の考え方・ 対象・課題の整理	・公営企業の現状と最近の動き ・抜本的な改革における論点・課題
第2回	6月16日		・各事業別の現状・課題等(1) ・当該事業における抜本的な改革の考え方・ 対象・課題等
第3回	6月30日		・各事業別の現状・課題等(2) ・当該事業における抜本的な改革の考え方・ 対象・課題等

- 7月以降、毎月1回程度、研究会を開催
- 第4回以降に抜本的な改革の検討に資する経営指標等の検討を行う予定
- 今年度末に最終報告を取りまとめ(予定)

# 公営企業の抜本的な改革における論点・課題（案）

## （現況）

事業概要	・公営企業で行われているサービス内容等
公営企業で行ってきた必要性・理由	・当該サービスをこれまで公営企業として、実施してきた必要性や理由
現 状	・事業数 ・経営状況（H26決算、過去5年間のトレンド） ・公営企業が占める割合 等
改革の実績	・H21～25 抜本的な改革の実績 ・改革が進んだ／進まなかった要因 ・広域連携や民間活用の状況 ・改革の優良事例（新たな指標検討に資する事例や横展開が期待できる優良事例を含む） 等
今後の経営上の課題	・制度改正や社会経済情勢によるプラス要因／マイナス要因等
国における施策	・病院事業における再編・ネットワーク化の推進 ・簡水事業における上水への統合推進 等
求められる対応	・将来の経営環境（予測）を踏まえ、事業ごとに求められる対応

## （改革の方向性）

検討上の留意点	・抜本的な改革の検討を進める上での留意点（例：現在、各事業のおかれている事情等）
事業全体としての改革の方向性等	・当該事業において、一般的に求められる抜本的な改革の方向性や手法（廃止、民営化、広域連携、民間活用）等
改革を進めるに当たっての課題、必要な施策	・上記の方向性を踏まえ、改革を進めるに当たっての課題、その課題に対して国として求められる施策の考え方、方向性（優良事例の横展開の具体的手法等）
改革が必要な企業の考え方	・経営成績や財務状態等に基づき、抜本的な改革の検討が特に求められる状態にある企業の考え方や抽出方法等